

(熊本県後期高齢者医療広域連合臨時議会報告)

取り過ぎた

12年度末「予備費」はなんと80億円! 保険料の引き下げを!

7月31日、後期高齢者医療広域連合臨時議会が開催されました。新議長に齊藤聰熊本市議会議長を選出。日本共産党は、益田牧子熊本市議と小林久美子菊陽町議が、24年度補正予算と職員給与条例への質疑や一般質問を行いました。質疑・一般質問時間は、全国最悪のわずか5分と10分ですが、予備費80億円での保険料引き下げと、延滞金徴収や3か月短期保険証の中止、健診無料化などを取り上げ、実現を迫りました。

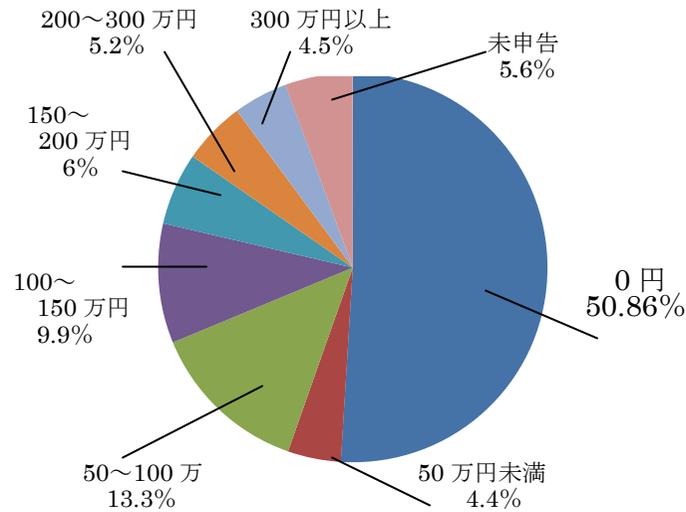
14、15年度保険料引き上げは中止し、引き下げを!

12年度医療費は、決算見込みで85億円減額。予備費は、42億5千万円増額し、80億7千万円になり、全国でも極めて高額です。

小林菊陽町議は、「来年度保険料5.44%の引き上げ計画をやめ、予備費等を使い、保険料の引き下げをすべき」と追求しました。幸山連合長は、「予備費は、保険料上昇の抑制財源として活用したい」と述べるに止まりました。県の財政安定化基金も28億5千万円も残されており、取り過ぎた保険料の引き下げは十分可能です。

滞納者への短期保険証発行率、全国ワースト2位

約26万の加入者の所得状況は、なんと所得0が73%、100万円以下は8割、200万円以下が9割を占めます。保険料滞納者(2196人)の所得は、0が約51%、150万円以下が78%、300万円を超えるのは、100人・5.6%に過ぎません。(右表参照)



12年度保険料滞納者の所得状況

滞納者の約3割に3か月短期保険証を発行。益田議員は、滞納者への発行率全国ワースト2位の冷たい対応を止めるよう要望しました。

検診率、全国最低10%。費用は最高、無料化を!

宇土市は、12年度から40歳~74歳の特定健診無料化を実現。受診率は7%アップし、約40%へ。一方、75歳以上は800円と高齢者差別です。益田議員は、「受診費用800円は、九州でも最高額。受診率は最下位の10.12%。九州では、福岡(500円)と熊本県のみ有料。無料化は3000万円のできる」と受診率向上のためにも、健診無料化を要求。しかし、幸山連合長は、「受益者負担の原則から1定の自己負担は必要」と従来の答弁を繰り返しました。

短期保険証発行ゼロ11町村~短期保険証発行は、「納付相談の機会確保」が目的です。小さい町村ほど相談が行き届き、発行ゼロです。美里町、玉東町、長洲町、和水町、高森町、津奈木町、水上村、五木村、山江村、球磨村、苓北町が発行ゼロ。一方、ワースト1位は、熊本市、2位八代市、3位天草市です。

第3回定例会の開催は、9月12日~10月4日。

*上野美恵子議員が一般質問を行います。

9月17日、午前10時~12時です。皆様のご意見やご要望をお寄せ下さい。

*市民連の皆さんと、学校ウォッチングや人吉市の普通教室へのクーラー設置の視察を行います。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市中央区手取本町1-1 3階

NO. 861

2013年8月11日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

「熊本市中学生による子ども議会」開催される

子どもの声が活かされる市政に

8月6日、熊本市議会本会議場において、熊本市内の中学生53名によって構成される「子ども議会」が開かれました。6つの班に分かれ、防災・教育・保健福祉・環境・経済・都市交通の各分野の問題について、意見が述べられ、質疑が行われました。

1997年から始まった「子ども議会」、開催は今年で17回目となります。今日の本会議に至るまで、2回の研修会が開かれ、議会のことや市の課題について討議し、質問が準備されました。

【今回の質問内容】

- 1、 災害等での人と人のかかわり
 - ・全小中学校への備蓄、応急手当の啓発
- 2、 わくわく基金と学校での教育相談
 - ・わくわく基金の周知、スクールカウンセラー・心のサポート相談員を身近にする取り組み
- 3、 ジュニアヘルパーの活用と障害者への理解を深める取り組み
- 4、 ごみ減量の啓発と地下水保全のための節水の取り組みについて
- 5、 農業の後継者不足と観光客の誘致
 - ・「しろめぐりん」の活用他
- 6、 熊本駅周辺の開発と公共交通機関の利用促進について
 - ・パークアンドライドなど

<子ども議会の質問で実現したこと>

- ・「ひご野菜」のPR
 - 学校での「ひご野菜」の栽培、給食への利用
 - ・高齢者サービス
 - 中学生によるジュニアヘルパー
 - ・いじめ予防
 - いじめ対策としての「KIZUNA アンケート実施
 - ・市長と中学生の対話
 - 中学生とのゆめトーク実施など
 -
- このほか、熊本城の保存や市電・市バスの利用促進策などもあります。子ども議会の提案が具体的に、市政に活かされている事例です。

「子ども議会」の取り組みによって、子どもたちが市政に関心を持ち、熊本市の将来について、たくさんの子どもの考えがきっかけになってほしいものです。

「事務事業外部評価会議」(事業仕分)が開かれます

ぜひ、傍聴しましょう！

事業仕分は、市民にかかわる大事な問題が、1課題たった90分という短い時間で論議され、評価されます。また、サービス利用当事者の声が十分に反映されていると言えません。対象事業の選定でも、本当に検証すべき事業が対象となっているとは言えません。



市民の視点での事業仕分というのであれば、「桜町再開発・大会議場 300億円」や「花畑町広場整備 40億円」など、市政のムダ使いこそ検証すべきです。

【日時と議題】

- | | | |
|----------------|--------------|-------------|
| (1日目) 8月23日(金) | ①17:00~18:30 | 待機児童解消事業 |
| | ②18:40~20:10 | リサイクル推進事業 |
| (2日目) 8月24日(土) | ①10:00~11:30 | 電停改良事業 |
| | ②12:30~14:00 | 教職員資質向上事業 |
| | ③14:10~15:40 | 商店街活性化対策事業 |
| | ④15:50~17:20 | 熊本市農業わくわく事業 |



【会議の流れ】市の担当職員の説明(10分) 委員との質疑応答・討論(70分) 意見整理・評価(10分)

【委員】8名

- | | |
|----------------|------------------|
| 明石照久(熊本県立大学教授) | 平橋祐子(壺川まちづくり委員会) |
| 石井憲子(NPO 法人代表) | 吉田孝充(熊本青年会議所) |
| 今村 寛(福岡市職員) | |
| 金子奈月(大学院生) | |
| 野村順子(公募委員) | |
| 永田潮満(公募委員) | |



「事業仕分」とは、

熊本市が実施している事業の中から、必要性・有効性・効率性や、社会経済環境や市民ニーズの変化に照らして検証が必要と思われる事業を選定し、公開の場で討議し、評価を行うものです。